

のしろ市議会だより

わたし まち

2025年(令和7年)10月24日 第78号



地域課題解決に挑む大学生たちとコーディネーターなどの皆さん
(撮影場所：マルヒコビルディング)

◆ 特集 ◆

ふるさとミライカレッジ

～大学と連携して地域課題解決に挑む～



令和7年9月定例会
録画中継ページ

特集	P 2
9月定例会の概要	P 3
審議結果一覧 ほか	P 4
一般質問 ほか	P 5～P 8
各委員会・分科会での主な審査概要	P 9～P 11
常任委員会行政視察報告 ほか	P 12～P 13
議会報告会を開催します ほか	P 14

◆特集◆ ふるさとミライカレッジ～大学と連携して地域課題解決に挑む～

ふるさとミライカレッジとは

能代市は、少子高齢化の影響と若者の転出の多さによる社会減により、人口減少に歯止めがかからず、かつてにぎわいのあった商店街は、空き店舗の増加等により活気が失われつつあると感じます。

一方で、2019年から官民が連携し、公共空間や空き店舗等を活用したイベントを創出し、リノベーションや新たなコミュニティが生まれてきています。この動きを継続、推進してきているものの、若いプレイヤー不足が課題となっています。

そこで、大学等の知見や大学生等の若者の視点を生かして地域課題の解決を図るため、総務省の実証事業である「ふるさとミライカレッジ」に市が応募し、採択されました。

同事業は、若者の力を生かした魅力的な地域づくりや人材の育成・還流の取組を加速させるため、三大都市圏外の市町村等が大学等と連携し、学生のフィールドワーク等を受け入れて実施するなど、若者の視点を取り入れた地域課題解決プロジェクトを支援するものです。

今回、東京大学の学生団体・東大生地方創生コンソーシアム、東北芸術工科大学、国際教養大学、秋田県立大学、秋田公立美術大学の大学生約20名が、9月から10月までの間の2週間程度能代に滞在し、地域課題解決に取り組んでいます。その活動の様子を取材しました。

大学生が取り組む地域課題

地域課題解決に向け、①商店街の魅力を伝える



木材企業を訪問する学生たち



空き店舗での活動を行う学生たち

パンフレットの作成、②木都能代の魅力を伝えるパネルの制作等情報発信、③コミュニティを活性化させる新たなイベントの企画、④空き店舗を利活用し、日常的にチャレンジを行なうことができるような新たな拠点を整備すること、の4項目に学生たちが分かれて活動に取り組んでいました。その中で、町なかを巡り、商店主や市民団体の関係者、木材関係の企業の話聞き、能代市の現状を知り、今の能代にとって地域課題解決の効果的な手法は何かを一生懸命考える様子が見られました。

また、空き店舗の整備では、壁塗りや家具製作等の慣れない作業を楽しみながら行っていました。

学生たちが取り組んだ内容は、10月26日に実施される「第10回のしろいち」で発表される予定となっており、成果発表に向け、様々な活動に取り組んでいます。

ました。ぜひ、「のしろいち」に足を運ばれ、成果発表をご覧になってはいかがでしょうか。

コーディネーターへのインタビュー

取材の最後に、今回のプロジェクトでコーディネーターとして学生たちのサポートを務める、株式会社Oriaiの代表取締役の松井大介さんにお話を伺いました。



コーディネーターの
松井大介さん

松井さんは、「この事業は、能代市で暮らす皆さんの人に関わりのあるものだと考えています。一過性にならないように事業を進めていきたいと考えています。また今回、商店主や企業の方々、まちづくりに関わる方々のお話や地域に対する思いを聞くことができ、ふるさととは人そのものであるということを改めて感じる機会となりました。今後も能代の活性化のために力を尽くしていきたいと思います。」と本プロジェクトと今後の地域活性化への思いを熱く語ってくれました。

取材を終えて

学生たちの地域課題解決に向けた活動の取材や松井さんへのインタビューを通して、地域課題解決のために活動してくれた取組を、この地域に暮らす私たちがつなげていかなければと強く感じました。

取材…阿部 誠、渡邊正人、藤田拓翔

9月定例会の概要

令和7年度一般会計補正予算は

全会一致で可決

9月定例会は、9月2日から26日まで25日間の会期で行われました。

提出された議案は、令和7年度一般会計補正予算、令和6年度一般会計決算及び特別会計決算など全21件と、議員発議の意見書案1件、決議案1件で、審議の結果、全ての議案を承認・可決・認定しました。また、陳情1件を採択しました。

主な単行議案

◆能代市保育所条例を一部改正します

入所児童数の減少に伴い、能代市きみまち子ども園を廃止します。

◆能代市文化会館のフルコンサートグランドピアノを購入します 契約金額 4048万7700円

◆能代市文化会館条例を一部改正します
新たに購入するフルコンサートグランドピアノの使用料を定めます。

令和6年度決算

- ・能代市一般会計決算及び特別会計決算
- ・能代市水道事業会計決算
- ・能代市簡易水道事業会計決算
- ・能代市工業用水道事業会計決算
- ・能代市下水道事業会計決算

令和7年度一般会計補正予算

補正予算（第6号）は1300万円を、（第7

号）は7億71万4000円を、（第8号）は4564万9000円を、（第9号）は1億2658万4000円をそれぞれ追加し、予算総額は392億4835万1000円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆財政調整基金積立金 5億9347万3000円

市の貯金に相当する財政調整基金に、前年度からの繰越金の2分の1を積み立てます。補正後の基金残高は33億5334万8000円です。

◆高校魅力化推進事業費 105万2000円

高校魅力化を図るための講演会やワークショップを開催します。

◆すこやか子育て支援事業費 1139万5000円

3歳未満児の保育料の無償化に伴い、助成経費を追加します。

◆鳥獣被害（農作物）防止対策事業費 745万8000円

熊やイノシシの目撃件数増加のほか、鳥獣保護管理法の改正に伴い、鳥獣被害対策実施隊の出勤報酬等を追加します。

◆学校給食無償化事業費 360万8000円

市立以外の小・中学校等に在籍の児童生徒に対し、学校給食費相当額を交付します。

◆農地・農業用施設災害復旧支援事業費補助金 5700万円

令和7年8月5日、20日、9月2日の大雨災害に係る農地、農業用施設の復旧に対して補助を行います。

◆道路河川災害復旧事業費 1億2700万円

令和7年8月5日、20日、9月2日の大雨災害に係る道路・河川の復旧を行います。

令和7年度特別会計補正予算

- ・能代市農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・能代市常盤財産区特別会計補正予算
- ・能代市国民健康保険特別会計補正予算
- ・能代市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・能代市介護保険特別会計補正予算

令和7年度企業会計補正予算

- ・能代市水道事業会計補正予算

専決処分の承認

◆令和7年度能代市一般会計補正予算（第5号）
農作物の渇水対策として、かん水（水やり）が必要な市内在住の農業者及び団体に支援します。

意見書の提出

1件の意見書案を可決し、関係行政庁へ提出しました。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出について

決議

厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議について、賛成多数で可決しました。

審 議 結 果 一 覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ー：退席
※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案 番号等	議 案 名 等	採 決 結 果	希 望						青 松 ・ 公 明 党				市民ネットワーク (市民の声、大河の会、 能代民政会)		平 政 会			日 本 共 産 党		シリウス		
			鍋 谷 暁	大 高 翔	今 野 孝 嶺	安 岡 明 雄	武 田 正 廣	菅 原 隆 文	安 井 和 則	阿 部 誠	渡 邊 正 人	落 合 範 良	渡 辺 優 子	藤 田 克 美	梶 貴 一 郎	小 野 立	藤 田 拓 翔	針 金 勝 彦	後 藤 健		相 場 未 来 子	菊 地 時 子
承7	専決処分した令和7年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	能代市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	能代市保育所条例の一部改正について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	物品の取得について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	能代市文化会館条例の一部改正について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	文化会館自家発電設備等改修工事の請負契約について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	令和6年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	－	○	●	●	○	
64	令和6年度能代市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	令和6年度能代市簡易水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	令和6年度能代市工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	令和6年度能代市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	令和7年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和7年度能代市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和7年度能代市常盤財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	令和7年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	令和7年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	令和7年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和7年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和7年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	令和7年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	令和7年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳60	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	採択	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議3	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議4	厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議について	可決	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	●

市 民 意 識 調 査 結 果

市民意識調査において、市議会に関する質問項目を設けています。今年の調査結果をお知らせします。

調査概要 対象 市内在住満18歳以上2000人

時期 令和7年6月

回収率 36・4%（727人）

問 能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、本会議のライブ・録画中継や、議会基本条例に基づき委員会の傍聴を行うなどの取組をしていますが、市議会に對してどのようなことを期待しますか。（選択は2つまで。構成比は回答者727人に対する割合のため、合計値は100%になりません。）

1位 市民の意見を広く聴く取組を充実する

（43・5%）

2位 特にない

（28・7%）

3位 市政の発展に資する政策を提案する

（27・8%）

4位 条例や予算等の内容が適正か審議する

（19・9%）

5位 行政の事務が公正に行われているかチェックする

（14・3%）

6位 議会活動に関する情報提供を充実する

（8・4%）

7位 無回答

（2・3%）

8位 その他

（2・1%）

今野 孝嶺

希望

齊藤市政5期20年の総括は

【質】 齊藤市長は、平成18年、新能代市の初代市長に就任され、5期20年にわたり能代市政を担ってこられた。この5期20年を振り返り、どのように総括されるか。

【答】 市民と共に幸せを創る、幸福共創の基本理念の下、本市の発展に向けて精いっぱい取り組んできた。新市の一体感の醸成を図り、財政状況の改善とまちづくりの基盤を固め、産業振興や子育て支援等様々な施策を具体化し、着実に歩んでいると思っている。市民と共に種をまき、育ててきた結果、花が咲き、実を結んできている手応えを実感している。

今後の市政及び市長選挙への対応は

【質】 来年4月は、市長、市議会議員の改選期となる。厳しい時代の市政のかじ取り役を誰にするのかを決める市長選挙は市民の大きな関心事である。今後の市政及び来春の市長選挙への対応は。

【答】 現在、本市を取り巻く様々な行政課題の方向づけをすることにも、将来の発展に向けた事業を一步でも前へ進めることに全力で取り組んでいるため、次期市長選への対応については今のところ考えていない。

その他の質問事項

- 三菱商事の洋上風力発電事業撤退の影響
- 八峰町及び能代市沖の洋上風力発電事業

渡邊 正人

青松・公明党

市役所駐車場内の歩行者等の安全対策

【質】 市役所本庁舎脇には歩道が設置されているものの、さくら庭の横には歩道がなく、さくら庭の階段を使うか、歩道のない車道に出て歩く必要がある。歩行者等の安全確保が求められるが、対策は。

【答】 本庁舎駐車場の北口出入口から柳町側の南口出入口にかけて、歩道のない部分もあることから、通行する車両と歩行者がすれ違う際に危険な場合もあると認識している。そのため、正面玄関側の北口出入口に、車両に対する一時停止と徐行を促す看板を設置しているが、今後、駐車場内に危険な箇所がないか改めて点検し、必要な対策を検討する。

熊等の鳥獣による人身被害の防止

【質】 今年は春先から多くの熊等の鳥獣の目撃情報や農作物等への被害があり、人身被害の防止に地元猟友会のメンバーが大きな力を担っている。猟友会の出動要請等の状況は。

【答】 過去5か年の出動実績は、ツキノワグマ以外も含め累計で令和3年度が1350人、4年度が1453人、5年度が2201人、6年度が1512人、7年度が8月末時点で、1305人となっており、非常に増えている。市としては、引き続き、実施隊の猟友会や関係機関と連携を密にし、農作物被害の防止や住民の安全確保等に努める。

その他の質問事項

- 撤退に伴うまちなかコサクル等への影響
- 熊等の駆除に関する新指針への対応
- 観光客等に熊等の出没の注意喚起は

小野 立

市民ネットワーク
(市民の声、大河の会、能代民政会)

日本語学習活動への支援の拡充

【質】 日本社会で外国人が日本人と平和共存するには、外国人への日本語と社会習慣の教育が不可欠だ。能代でのそうした活動は、おおむねその方々の自助努力で行われてきたが、支援の拡充が必要では。

【答】 平成13年から日本語学習ふれあい交流支援事業を行い、事業の開始当初から、のしろ日本語学習会の熱意ある運営に支えられてきた。本市で生活する外国人が増加している中、従来のボランティア中心の活動は、年々厳しくなっていると伺っている。市としては、のしろ日本語学習会の御意見を伺いながら、より効果的な支援の在り方を検討していく。

障害児保育への補助の拡充

【質】 障害児保育に必要な保育士の加配に関し、市は加配1人当たり約14万円を保育所に支給しているが足元の人件費には見合っていない。保育所が子供を預かれば親は働けない。補助拡充の考えは。

【答】 令和7年度において、本市の障害児保育に係る補助基準額は月額14万4000円と県内では高い水準にあるが、近年の賃金単価の上昇により、保育士の人件費と乖離が生じていると認識している。障がいのある子供の受入れ体制を維持し、全ての家庭が安心して保育サービスを利用できるよう、補助基準額の見直しを検討したいと考えている。

その他の質問事項

- 三菱商事連合の撤退
- 起債で市への交付税が増えること
- 国の制度を活用した二拠点生活の推進

相場 未来子

日本共産党

私立小学校開校の意向に対する見解は

質 昨年来、県外の学校法人が新たな私立小学校を開くことを模索しているとの話がある。旧崇徳小学校舎の活用の意向も示されたが、これまでの経緯と市の見解は。今後の情報開示をすべきでは。

答 学校法人の関係者から新たな学校開設の可能性の検討の意向が示され、本年7月に地域住民に対し説明会を行った。同校舎の利活用について、地域住民と検討しているところであるため、その意向を確認するとともに、開校による影響等を見極めながら対応していきたい。また、具体的な情報等は同法人で内容がまとまった段階で開示されると考えている。

子ども版「防衛白書」の配布中止を

質 防衛白書の子ども版を防衛省が全国の小学校に配布している。恐怖心をあおり、軍備強化や抑止力を正当化、政府の見解を一方的に教え込む内容となっている。受け取りを拒否すべきでは。

答 防衛白書では、主に自衛隊の災害派遣等の働きが紹介されており、小学校社会科学習指導要領解説にも自衛隊の活動について示されている。市教育委員会としては、今後、防衛省、文部科学省及び県教育委員会を通して学校への配布依頼があった場合、児童生徒の学習内容に即した内容であるか精査しながら、配布するかどうか判断していく。

その他の質問事項

- 中高生の個人情報への自衛隊への提供状況
- 公共交通網の空白地域はないか
- 買物難民がいる地域への対策は

安井 英章

シリウス

外飼い犬をベアドッグに活用できないか

質 昔は犬を外で飼う家が多かった。その犬が自然動物にほえるためベアドッグの役割を果たしていたほえる近所迷惑になるが、熊の生息地に近い集落で「集落で飼う」という考えはないか。

答 県では、「秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第6次ツキノワグマ）」を策定し、熊を人の生活圏に近づけない取組の一つとして犬の活用を掲げている。その中で、犬が熊に与えるプレッシャーは評価すべきものであり、活用方法について引き続き検討を行うとしている。このような、県が行っている検討を注視し、活用方法を研究したいと考えている。

宿泊税の導入を検討できないか

質 宿泊税を導入する自治体が増えている。観光施設の整備や宿泊施設の整備などに充てているが、当市も、天空の不夜城展示施設整備や宿泊施設整備のために導入できないか。

答 宿泊税は、宿泊料金に含ませて宿泊者から負担を公平に求めるもので、観光資源の魅力向上等に活用が期待できる中立性の高い税金であるが、事務負担等に対する宿泊事業者の理解を得る必要がある。市としては、課税対象や税の使途等について関係者の意向を確認した上で、各市の状況も参考に研究したいと考えている。

その他の質問事項

- 三菱商事撤退対策として浮体式の建設を
- 水素ラボは中心市街地に建設すべきでは
- リチウムイオン電池の回収に尽力を

鍋谷 暁

希望

内水氾濫への対策は

質 先般の2つの記録的な大雨災害では市内の広範囲で内水氾濫が発生し、松長布地区では大規模な浸水被害が出た。今後の内水氾濫への対策は。

答 悪土川水災害対策プロジェクトに基づき、国、県で河道掘削等を行うほか、市では、東栄団地地域における市道の冠水頻発箇所（道路の嵩上げ等を行うこととしており、引き続き、国、県と連携し、浸水被害の軽減に努める。また、土のうステーションの在り方を検討するほか、下水道事業において、雨水出水浸水想定区域図の作成を予定している。

水道料金の段階的引上げ

質 水道事業では令和12年度に純利益が確保できなくなり、水道料金を26・3%引き上げる試算がある。急激な料金引上げは市民生活への影響が大きいことを考慮し、段階的な引上げを行う考えは。

答 水道料金改定は、市民生活に大きな影響を与えると認識しており、実行に際しては、段階的な引上げを含め、慎重に検討したいと考えている。

その他の質問事項

- 避難所を遠隔操作で解錠するシステム
- 小規模分散型水循環システムの導入研究
- ふるさと納税3・0による商品開発支援

畠 貞一郎 市民ネットワーク
(市民の声、大河の会、能代民政会)

三菱グループ企業の洋上風力発電の撤退

質 三菱グループ企業が工事費用の高騰、物価の高騰などで洋上風力発電事業から撤退した。エネルギーのまちとして、地元経済の波及効果、関連産業の振興等への影響をどのように考えているか。

答 今回の洋上風力発電事業の撤退は、本市の関連産業に様々な影響を及ぼす可能性があると認識しており、その把握が必要と考えている。市内の関連が想定される事業者数社に状況確認したところ、本格的な事業実施前であり、具体的な損失はないと伺っている。市としては、影響について情報収集し、地元事業者から相談があれば、必要な対応を検討する。

第八次秋田県高等学校総合整備計画

質 高等学校の再編に関して、県と協議する時間はごく僅かである。市として、地域住民や学校関係者などのような協議をし、考えをまとめるつもりなのか。

答 高校数の減少は、地元の中学生の進路の選択肢が狭まったり、市外への通学の負担が増えたりすることが懸念されるほか、市民生活等への影響も大きい。そのため、県教育委員会に対し、市民の思いを十分に伝えなければならぬと考えている。市内の高等学校の現状や課題を整理した上で、市民等からなる協議の場を設け、意見集約を図りたい。

その他の質問事項

- 八峰町及び能代市沖の洋上風力発電事業
- 能代港の利活用
- 小・中学校卒業者の市外への流出

菊地 時子 日本共産党

市独自の賃上げ支援を検討できないか

質 最低賃金の低い県から高い都道府県へ若者を中心に労働力が流出することに危機感を持つ自治体が増えている。市町村が独自に県の支援金に上乘せするところもある。賃上げ支援の考えは。

答 市では、これまで各種補助金や、新商品開発・新規分野への参入を促進する補助制度のほか、経営相談窓口の開設等を通じて、地域企業を支援してきた。これらの取組が企業活動の成長に寄与していると認識している。市独自の賃上げ支援は考えていないが、こうした取組を進めることで、地域企業の持続的な賃金水準の底上げにつなげたい。

補聴器購入への補助ができないか

質 補聴器購入補助を行う自治体が増えている。8月の介護予防講演会が定員いっぱいとなり、市民の関心の高さがうかがわれた。助成を行っている自治体に学び、当市でも補助ができないか。

答 補聴器購入への補助については、現在行っている県のモデル事業の検証結果や参加者へのアンケート調査結果により、ニーズの把握に努め、補助の必要性について検討する。

その他の質問事項

- 気候危機による農業への影響は
- 気候危機による雑草の繁茂の影響は
- 気候危機対策による一般住宅への支援は

大高 翔 希望

撤退の不利益の補填を国に求める考えは

質 三菱商事の洋上風力発電事業の撤退により、市は地元企業や市民との信頼関係で不利益を被った。今後の事業推進や再公募の際に不信感は拭えないが、不利益の補填を国に求める考えは。

答 市内の関係すると想定される事業者数社に状況確認をしたところ、期待していた分、落胆しているが、本格的な事業実施前であり、具体的な損失はないとの話を伺っている。今後も今回の事業取りやめの影響について市として情報収集に尽力するとともに、地元事業者から相談があった場合は、必要な対応を検討する。

産後女性の就労環境に対する柔軟性

質 産後女性が正規就労を選択しようとするときに、長時間労働を選択しなければならぬ可能性がある。とすれば、就労環境に対する柔軟性の確保が定住に資すると思うが、市の認識は。

答 産後女性が安心して職場に復帰できるような柔軟な就労環境が女性に選ばれる地域づくりにもつながるものと考えている。現在、地元企業や子育て中の母親を対象にアンケート調査を実施しており、双方のニーズを把握しながら、子育て中の母親をはじめとした女性が、地域や企業で活躍できる仕組みの構築を目指したいと考えている。

その他の質問事項

- ケアマネの配置が2名以下の事業所
- 年齢が60代以上のケアマネの割合
- 洋上風力発電事業の撤退

武田 正廣

希望

能代市こども計画と子育て支援

質 乳幼児の長時間保育は子供に負担を強いる。「こどもまんなか」の理念から、市独自に長時間保育を解消できないか。また、3歳未満児の在宅育児世帯の支援も考えるべきではないか。

答 保護者の就労状況等は様々であり、保育の利用時間に制限を設けることは、保護者の働き方等への影響が懸念されるため、現在の保育時間は適切と考えている。また、共働き世帯が増え、在宅育児世帯は減少しており、子育て支援センター事業等全ての子育て世帯が利用できる事業を行っていることから、在宅育児世帯への支援は考えていない。

奥羽・羽越新幹線整備構想

質 フル規格の整備新幹線は地方創生に大きく貢献すると言われている。奥羽・羽越新幹線が基本計画に載っていることは大変有利である。東北6県及び日本海側関係県と連携し、運動を進める考えは。

答 今年度の秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会の事業計画として、整備計画路線へ格上げを目指した運動の加速化等について、国等への働きかけを強力に行うことを議決した。新幹線開通による地域住民の利便性向上や地域経済への波及効果は大きいと考えており、同盟会の一員として、整備促進に向け取り組んでまいりたい。

その他の質問事項

- 少子化の抜本的な解決策
- 東能代地域の道路整備の考え方

タブレット端末を導入しました

9月定例会から、タブレット端末を本格的に導入し、利用を開始しました。導入に当たり、7月はタブレットの操作講習会、8月には電子化した資料を閲覧するシステムの操作講習会を実施しました。今後、ペーパーレス化など事務経費の削減や事務の効率化につなげる取組を進めます。



9月定例会本会議の様子

議会の主な動き

7月～9月

7月1日	文教民生委員会行政視察	(3日まで)
8日	広報委員会	
9日	総務企画委員会行政視察	(11日まで)
23日	産業建設委員会行政視察	(25日まで)
8月26日	会派代表者会議、議会運営委員会	
9月2日	会派代表者会議、議会運営委員会、本会議(9月定例会開会)	
8日	本会議(一般質問)、広報委員会	
9日	議会運営委員会、本会議(一般質問)	
10日	本会議(付託)、決算特別委員会(全体会)	
11日	各決算特別委員会分科会、各予算委員会分科会、各部門別常任委員会	
16日	議会改革調査特別委員会	
24日	会派代表者会議、議会運営委員会、決算特別委員会(全体会)、予算委員会(全体会)	
26日	議会運営委員会、議会運営委員会協議会、本会議(議決)	

請願・陳情の提出期限

12月定例会の請願・陳情の提出期限は、開会日(12月2日予定)の午前10時です。

各委員会・分科会での主な審査概要

決算特別委員会

令和6年度一般会計と特別会計の決算を認定

9月10日に決算特別委員会を開催し、総務企画分科会、文教民生分科会、産業建設分科会の3分科会を設置し、一般会計と8つの特別会計の決算を審査しました。一般会計の決算額は、歳入

369億959万8444円、歳出356億5795万8053円で、歳入歳出差引額は12億5164万391円。全特別会計の決算額は、歳入141億6137万5173円、歳出136億7258万4287円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。審査の結果、決算を認定すべきものと決しました。

主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

【普通会計における実質単年度収支が黒字となった要因】

令和4年度、5年度における能代工業団地拡張事業の用地購入費及び造成工事に対する県からの補助金や用地売却収入が6年度の歳入となっており、

同事業における年度間調整が終了したことが主な要因である。

【経常収支比率が5年度決算比で1.4ポイント上回った要因】

収入において地方交付税等が増となったものの、支出において給与改定による人件費の増が大きく影響したほか、物件費及び能代山本広域市町村圏組合負担金の増も主な要因となっている。

【経常収支比率から見る財政運営に対する考え方】

収入の増が重要と考えている。税收等一般財源の確保に努めながら、経常的経費の削減にも取り組む必要がある。

【ふるさと納税の寄附金額を、4年度、5年度比でどのような分析をしているか】

制度改正の影響とみられる4年度比減の5年度と、現行制度改正前の4年度のいずれの寄附金額も上回り、過去最高額となった。トイレットペーパーなどの生活必需品や米の価格高騰の影響により、当市の返礼品に対する需要が高まったと考えている。

【能代市危険空家等解体撤去費補助金の効果】

30件の見込みに対し、29件の実績となった。危険な空き家への対策としては、周囲の家屋への影響を取り除くなど、空き家数は年々増加している状況にあるものの、一定の効果があつたと考えている。

【すまいる・めんchoco定期便事業費は、全ての対象者が適用となっているか】

事業対象は、6年4月1日以降に生まれた1歳未満の乳児で、生後3か月から配達が始まるため、実人数は127人となっているが、対象となる乳児には配達できている。

【奨学金貸付金の奨学生募集に対する応募者数の推移】

応募者は年々増加傾向にある。保証人要件の削除や返還助成制度の導入が増加理由と考えている。

【ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業の効果】

6年度における返還対象者数は170人で、うち能代市山本郡に居住し、返還を免除された方は、返還対象者全

体の約34%に当たる58人となっている。この割合は年々増加傾向にあることから、次代を担う若者の人材確保及び定住の促進を図るとした事業目的において、効果があつたと考えている。

【ねぎ農地ばぐりっこ対策補助金の効果】

生産者からは、改植により病気が蔓延することなく収穫することができたとの話をいただいている。6年度は、好天や単価上昇等の影響も加わって、販売額が過去最高の22億円超となっており、効果はあつたものと捉えている。

【創業等サポート事業の効果】

相談窓口の利用件数は延べ103件で、実績では創業2件、新規分野の進出1件につながっており、効果はあつたものと捉えているが、スタートアップスクールについては、8名の参加があつたが、まだ創業には結びついていない。

【除排雪対策費における、排雪の出勤回数】

能代地域は実績がなく、二ツ井地域は37回であった。

(武田正廣)

総務企画委員会・分科会

質 市公用車のカーナビに係るNHK放送受信料等に関する予算の概要は。

答 未契約分のNHK放送受信料及びアンテナ取り外し手数料について、受信料は、一般会計分19台と企業会計分1台の合計20台、126万1000円を、取り外し手数料は、一般会計分5台と企業会計分1台の合計6台、3万7000円をそれぞれ計上したものである。

質 NHKとの協議内容は。

答 アンテナの取り外し以降は新たな受信料負担が生じないことを確認するとともに、協議により、未契約分の受信料は市の会計書類の保存年限である過去5年分までの支払いになった。

質 高校魅力化推進事業の内容は。

答 市内に所在する3高校と特別支援学校の4校を魅力化推進の対象として、学校関係者を含めた会議体を設け、講演会とワークショップを開催しようとするものである。市内の高校及び小・中学校の現状と課題の整理のほか、高校卒業までに身につけてほしい資質や

能力、学校と地域の連携の在り方等について意見交換を行いたいと考えている。

質 水素ラボ構想事業費に関し、地域活性化起業人の具体的な業務内容は。

答 水素ラボのような施設に関する知見を有しているコンサルタント事業者より、同構想について地域活性化起業人として協力したいとの提案があったもので、市と協働で具体化に向けた検討を進めようとするものである。



水素ラボイメージ画像（市提供）

（今野孝顕）

文教民生委員会・分科会

質 すこやか子育て支援事業費補助金の内容は。

答 3歳未満児の保育料無償化に伴い、市内4つの認定こども園が徴収している保護者負担分を市が補助しようとするもので、令和7年10月以降において約90人分を見込んでいます。

質 学校給食無償化事業費の補助対象事例は。

答 市立以外の小・中学校に在籍しているまたは食物アレルギー等の理由により保護者負担で昼食を用意している児童生徒のほか、フリースクールに通っている事例を対象として、学校給食費相当額を交付しようとするものである。

質 能代市きみまち子ども園の廃止に伴い、現在雇用している職員への対応はどのようなものか。

答 市が設置する全ての保育所において、会計年度任用職員の雇用期間が令和7年度末で満了するため、全体として新たに募集する予定である。8年度も公立保育所での就労を希望する方や民間での就労を希望する方など、個別

状況を把握しながら対応していきたい。

質 能代市文化会館のフルコンサートグランドピアノの供用開始時期はいつ頃を予定しているか。

答 令和8年3月末に納入を予定しており、その後3か月間の弾き込みを経て、7月の供用開始を予定している。

質 お披露目イベントの予定はあるか。

答 8年度予算での計上を検討している。

質 フルコンサートグランドピアノの使用料の設定根拠はどのようになっているか。

答 他市の事例を参考としながら、受益者負担として一定程度の負担を求めつつ、市民から広く使用していただくための額を設定しようとするものである。同一モデルのグランドピアノとしては、県内で最も低廉な使用料となっている。

質 文化会館自家発電設備等改修工事による開館への影響は。

答 仮設の発電機設置作業で1日、変電設備機器の撤去及び新設作業で1週間程度、臨時休館する予定である。

（阿部 誠）

産業建設委員会・分科会

質 鳥獣被害（農作物）防止対策事業費の追加理由は。

答 熊やイノシシの目撃件数が例年以上に多いことから、実施隊の出勤機会の増加による報酬の追加のほか、鳥獣保護管理法の改正に伴い、市街地に熊等が出没した際に市職員が装着する装備品等の購入費を追加しようとするものである。

質 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金の内容は。

答 畜産に係る機械の購入を予定している1経営体に対し、県と市で事業費補助をしようとするものである。

質 令和6年度能代市水道事業会計決算の認定に関し、漏水の調査及び修繕に係る費用の内容は。

答 市内を6区画に分け、昭和に布設した管を対象に各ブロック1年のサイクルで調査している。調査費用は年間400万円〜500万円、漏水箇所修繕費用は1件当たり10万円〜20万円程度であった。

質 令和6年度能代市下水道事業会計決算の認定に関し、公共浄化槽の整備状況は。

答 能代市循環型社会形成推進地域計画において、年間51基を目標としているが、近年、住宅等のリフォームによる水洗化の件数が減少傾向にあり、6年度は33基であった。



産業建設委員会の様子

（鍋谷 暁）

議会改革調査特別委員会

9月16日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づき、4つの付議事件について検討を行ったほか、新たに、能代市議会基本条例の検証を付議事件に追加し、調査を行った。

タブレット端末の活用について

●移行期間終了後の紙媒体資料の在り方

協議結果 印刷製本された冊子資料の提供について、提出元における作成の方向性を確認し、令和8年度以降においては、提出元への対応を求めないとして、全会一致で決定した。

また、今回の調査をもって、タブレット端末の活用に関する調査は終了した。

政務活動費について

●交付額

意見 引上げを検討すべき。

意見 令和8年度当初予算編成の時期を迎えることから、今回の委員会において決定すべき。

意見 据置きとして、今回の委員会において決定すべき。

意見 市民が納得できる内容であることを確認した上で、交付額の検討をしたいところだが、現任期において結論を出すのであれば、据え置きとすべき。

協議結果 据え置きとすべき、として意見集約し、決定した。

●視察研修の報告書内容の公表

協議結果 7年度分の政務活動費を充てた視察研修の報告書については、提出議員が作成した任意様式のままホームページにおいて公表し、8年度以降に係る同報告書については、その取り扱いに関して協議を行い、報告書への必要記載項目を規定する、として意見集約した。

また、今回の調査をもって政務活動費に関する調査は終了した。

委員会会議録の公開について

意見 現行のとおり、委員長による審査経過等の概要報告の形式でよい。

意見 市民への公開方法としては、審査等の中継が最も早く実施できる手法と考えており、その導入をもって、現行の委員長報告の形式で事足りる。

意見 会議を民主的に運営するためのルールとして、会議公開は最も大事な原則であり、現行の委員長報告の形式では不足である。

協議結果 引き続き課題整理シートを基に協議する。

議会報告会の内容について

協議結果 引き続き課題整理シートを基に協議する。

能代市議会基本条例の検証について

協議結果 今後の進め方について、次回、各会派の意見を持ち寄る。

（阿部 誠）

各常任委員会行政視察報告

総務企画委員会

視察日 7月9日～11日
千葉県白井市 予算編成過程公表の取組について、小学校区まちづくり協議会設置の取組について、しろい市民まちづくりサポートセンターの取組について
東京都多摩市 決算事業に関する事業カルテの取組及び第10次行革推進計画「行政マネジメント計画・DX推進計画」について、多摩市民活動センターについて

予算編成過程公表の取組

白井市では、当初予算編成の透明性を図るため、当初予算の要求状況と査定状況の概要をホームページに掲載し公表している。各課からの要求額、財政課によるヒアリング後の要求額、部長協議時、三役協議時の要求額を明らかにし、決定した予算額と比較できるようにしている。
総務費、商工費等の費目別の金額の公表であり、事業別の金額の公表は行っていない。予算編成過程という行政の根幹を成す部分であり、幹事部で公開の取組で分野での情報公開の取組で課題は多いが、市民への説明責任を果たしたいという意欲を持っていいと感じた。



小学校区まちづくり協議会設置

白井市は、市民主体の共助のまちづくりを推進していくため、まちづくり支援職員制度を創設し、市の職員が、小学校区まちづくり協議会の設置や運営を支援している。
まちづくり計画の策定支援や会議の運営、事業実施のサポート等の人的支

援を行っている。また、協議会運営事務の委託費への支援として、協議会へ補助金を交付している。
まちづくり協議会では、防災訓練や高齢化による地域の担い手不足という課題は本市と共通であり、行政による積極的な支援の在り方として参考になる取組であると感じた。
また、しろい市民まちづくりサポートセンターも視察させていただいた。

決算事業に関する事業カルテの取組

多摩市では、事業を実施した所管課が事業カルテによる事業評価を行っている。予算策定時に計画した目標、実績状況、改善点についてまとめ、PDCAサイクルを回し、市民にも公表している。また、議会においても、各委員会が毎年、評価対象事業を選定し、設定された目標の達成状況、成果指標等をチェックし、事業評価シートをまとめていく。
当局、議会とも事業ごとの詳細な評価まで市民に公開している点は先進的であり、本市も取り入れていくべきだと感じた。
このほか、第10次行革推進計画「行政マネジメント計画・DX推進計画」についても説明を受けた。

KITAKAIさんぽ館

多摩市では、廃校となった小学校の施設と敷地を市民活動・交流センター、多摩ふるさと資料館として活用している。旧教室を創作室や音楽活動室とし、市民活動の場にしていくほか、体育館やグラウンドも利用できるようにしている。カフェを併設し、夜間や休日には酒類も提供していて、市民が集う憩いの場として利用しやすい雰囲気がつくられている。交流施設の整備の際の参考となると感じた。

(今野孝顕)

文教民生委員会

視察日 7月1日～3日
岐阜県岐阜市 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」について
愛知県岡崎市 校内フリースクール「F組」について、岡崎市立新香山中学校

子育て支援施設「ツナグテ」

岐阜市中心部にある、令和5年3月に完成した、柳ヶ瀬グラスル35。1・2階は商業施設、3・4階は公共施設、5・35階はマンション（335戸）。その4階にある子育て支援施設として「ツナグテ」は5年4月にオープンした。「あそび場はまなび場」をコンセプトにし、遊びを通して学び、成長し、探求力を高めることを目指した施設である。

天候に関係なく親子で遊べる場所、就学前の子供の一時預かりや、常駐する保育士による無料相談も受けることができる。目標来館者数は年間20万人で、7年度は、17万6000人の方が来館している。

大型遊具やボールプール、様々な工作体験ができるアトリエが設置された有料のキッズエリアのほか、無料で利用できるファミリー広場として、図書館コーナーや座ってくつろげる空間が整備されている。

若い人たちが来なくなるような開放的でおしゃれな雰囲気もあり、たくさんの方に利用されていることが分かった。

駐車場の課題等もあるが、当初の計画どおり8年4月から指定管理者に運営を委託するため、近隣の商店街とのさらなる連携を模索するなど、今後の利用促進が期待される。

校内フリースクール「F組」

全国的に不登校児童の増加が課題となっており、岡崎市教育委員会では、義務教育は全ての子供たちに等しく普通教育を実施するために存在していると考え、子供が学校に適應するのではなく、学校が子供に適應するという理念の下、校内フリースクール「F組」を令和2年度に設置した。

「F組」は「Free・Fly・Future」の頭文字を取ったもので、生徒に自己決定の場を与え、安心した環境の中で学び、社会的自立へとつながっている。

空き教室を使用し、初期費用としてソファやテーブル、椅子等で50万円、維持費は支援員の人件費として年間60万円ほどとなっている。

F組を利用する生徒は時間割を自分で決めて、自分で来られるときに来て、帰れるところで帰るというように、自分で決定したことを達成させることで自己肯定感を高めている。

先生達だけではなく、生徒の間でもF組の理念が広まっていて、学校全体で温かい雰囲気がつくられていることを感じた。5年度に岡崎市内の20校全ての中学校に設置が完了している。



(阿部 誠)

産業建設委員会

視察日 7月23日～25日

北海道札幌市 ICT技術を活用した路面状況の把握について、下水道事業における地球温暖化対策について
北海道美幌市 AIスマート農業加速化プロジェクトについて、雪蔵工房（米穀雪零温貯蔵施設）について

ICT技術を活用した路面状況の把握 （冬場の路面状況）

札幌市は防災科学技術研究所が研究開発しているAI路面判定システムのデータを活用して冬期道路管理への適応に関する研究を行っている。

車載式AI路面判定システムを道路パトロール車等に設置し、路面状況を線的に把握している。現場に行かずともシステム上で状況把握が可能であるので職員の業務負担軽減につながる先進的な取組であった。

また、札幌市の除排雪の方法、住民からのクレーム対応の状況、インターネットでの情報公開などについても情報交換ができた。

下水道事業における地球温暖化対策

札幌市は、水処理及び汚泥処理に多くのエネルギーを使用しており、下水道事業による温室効果ガス排出量は事業活動の中でも大きな割合を占めていることから、下水道事業における温暖化対策に積極的に取り組んでいる。

令和3年度に策定された市役所全体の温暖化対策計画、札幌市気候変動対策行動計画に基づきながら、札幌市下水道事業中期経営プラン2025等の経営計画の中で、温暖化対策施策を実施している。

具体的には省エネ設備・機器の導入、

バイオガス発電等の下水道エネルギーの活用などが実施されている。また、積雪寒冷地ならではの取組として、処理水を利用した融雪槽や下水熱を活用したヒートポンプなどを導入し、雪処理等に係る化石燃料の使用量を削減することで、温室効果ガスの削減に寄与している。



AIスマート農業加速化プロジェクト

美幌市では、各JAの先進農機研究会の農業者を中心に、美幌市、JA、空知農業改良普及センター等の関係機関で構成されている、美幌市ICT農業推進協議会が令和元年に設立された2年度には農業基盤整備事業の推進による圃場の大区画化の効果をより高めるため、ICTを活用した水稲における農作業の省力化や効率化をテーマとして検証を実施している。

具体的にはドローンと無人ヘリを組み合わせた作業時間の短縮、水管理システムの省力化効果の検証、スマート農業に対する理解の促進（講習会など）を実施している。

雪蔵工房（米穀雪零温貯蔵施設）

JAびばいでは、雪冷熱エネルギーを活用し、玄米を低温で貯蔵する、雪蔵工房という施設を運営している。降雪量の多さを生かした地球温暖化対策にもなる取組であった。

（鍋谷 暁）

議長の主な動き

7月～9月

- ・銀河連邦フォーラム2025
- ・能代山本北都会
- ・日本海六県港湾都市議会協議会
- ・役員会・総会・懇親会
- ・広域議会臨時会、全員協議会
- ・秋田県市議会議長会 定例会・懇談会（意見交換会）
- ・国道101号（秋田・男鹿・能代間）整備促進期成同盟会総会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会 正副議長・事務局長会議
- ・秋田県市議会議長会 実行運動
- ・意見交換会（懇親会）
- ・東北日本海沿岸市町村議会協議会 中央要望
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 夏期合同要望
- ・東北地方整備局要望
- ・向能代公民館オープニングセレモニー
- ・能代七夕 天空の不夜城
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 夏期合同要望 中央要望
- ・能代役七夕 出迎え
- ・秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- ・能代市成人式
- ・能代宇宙イベント 開会式
- ・能代市戦没者追悼式・平和祈念式典
- ・第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌
- ・いきいきふれ愛のつどい
- ・能代厚生医療センター病院運営委員会
- ・第79回国民スポーツ大会「滋賀国スポー」出場選手壮行会

（代理含む）

議長の交際費を公開します

《7月～9月分》

- ・能代山本北都会 懇親会 5000円
- ・令和7年度二ツ井地区無火災表彰式・懇親会 4000円
- ・日吉神社例祭、神幸祭宵祭直会 5000円
- ・向能代公民館開所祝賀会 4000円
- ・令和7年度あわびの里（く）祭り 3000円
- ・第21回能代宇宙イベント 懇親会 5000円
- ・能信会講演会 懇親会 7000円

（代理含む）

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
※議長交際費は能代市長の交際費に関する規定に準じて支出しております。

議会報告会を開催します

能代市議会では、市民の皆様に対して市政に関する情報を積極的に提供するとともに、皆様の意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として、能代市議会報告会を毎年開催しております。

今年も市内3か所で同時に開催します。どなたでも参加できますので、ぜひ御来場ください。

【日時】11月20日(木)午後6時から

(午後7時30分終了予定)※事前申込不要

【会場及び参加議員】

南部公民館

班長

落合 範良
安井 英章
阿部 誠
鍋谷 暁
小野 立
安岡 明雄
後藤 健

向能代公民館

班長

武田 正廣
菊地 時子
今野 孝嶺
藤田 拓翔
畠 貞一郎
渡辺 優子

中央公民館

班長

藤田 克美
相場 未来子
渡邊 正人
大高 翔
針金 勝彦
菅原 隆文



過去の議会報告会の様子

※安井和則議長は3会場を巡回します。

本会議・委員会等を傍聴しませんか

本会議・委員会等とは、どなたでも傍聴できますのでお気軽にお問い合わせください。

【本会議】

備付けの「傍聴者名簿」に住所・氏名を記入し、受付箱に投函して傍聴席へお入りください。耳の聞こえにくい方が音声を取りやすくする、磁気ループシステムを用意しておりますので、希望される方は、傍聴希望日の前日までに議会事務局にお申し出ください。

なお、当日は、本庁舎1階市民交流スペースと二ツ井町庁舎1階市民フロア前休憩スペースに設置してあるモニターでも中継を見ることが出来ます。また、市ホームページ等からライブ中継・録画中継や、市議会会議録を見ることも出来ます。



議会議中継へ

【委員会等】

開会時刻の30分前から会議室前で受け付けます。議会事務局が発行した傍聴券をお持ちの方のみ傍聴できます。(定員あり)
なお、開会時刻30分前の時点で定員を超える傍聴希望者がいる場合は抽選となります。

12月定例会の予定

(招集場所：能代市本庁舎議場)

- 12月2日(火)……開会・提案説明
- 8日(月)～10日(水)……
一般質問・議案の質疑
- 11日(木)～12日(金)……
予算委員会(分科会)・
常任委員会
- 15日(月)……議会改革調査特別委員会
19日(金)……予算委員会(全体会)
- 23日(火)……議決・閉会

会議の日程及び開議時刻(午前10時)は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

秋の気配が深まり、田畑や街路樹も色づきを見せ始めました。収穫の便りが聞こえる季節を迎え、地域の活気も一層感じられます。

9月定例会では、市民生活に直結する課題から将来を見据えた政策まで、幅広い議論が交わされました。本号で、その概要を少しでも分かりやすくお届けできれば幸いです。

議会は、市民の皆様の声を受け止め、まちづくりに反映していく大切な場であり、皆様の声が、地域をよりよくする大きな力となります。その思いを共有しながら、これからも議会だよりを通じ、活動の様子や議会の取組を丁寧に発信してまいります。

(藤田拓翔)

【御意見・御感想をお寄せください】

のしろ市議会だより「わたしのまち」を御覧になった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501

能代市上町1番3号 能代市議会事務局宛

能代市議会 広報委員会

委員長 委員長
副委員長 副委員長
委員 委員
〃 〃 〃 〃 〃

渡邊 正人
鍋谷 暁子
菊地 誠
阿部 孝嶺
今野 拓翔
藤田 一郎
畠 雄
安岡 明雄